

令和3年11月18日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 泉、松島、森、宮下、栗栖、多田

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	13人	3人	人	人

前回の改善計画
<p>日々の記録②を記載・確認を徹底し、情報共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規で関り、情報収集した内容（入浴状況や排泄状況、皮膚の状況、医療情報、本人・家族の思い etc）を日々の記録②に記入する 出勤時に、日々の記録②を確認し情報収集していく 新規利用者の情報発信は朝のミーティングではなく、PMの時間帯でミーティング時間を持ち、共有していく その他 事業所の中で、記録は「手書き」としているため、パソコン入力し貼り付けることはしない。改ざんととられる可能性があるため。 ヘルパーにて週1回土曜日に、ケアマップを刷りだしているがNsのケアマップで確認することができるので、HPによる刷りだしは行わないことにする。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	13	2		16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13	2		16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	11	1		16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		14	2		16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネからの前持った情報発信で共有できている 以前よりは日々の記録②などを活用して、情報共有ができるようになっている 本人の情報の共有は出来ている 早めに出勤し情報収集に努めた。 出来なかった日には休憩時間に確認するようにした。 ミーティングには参加できていないことが多いが、ラインワークスの活用で共有できている。 特に新規利用者の情報は朝礼等でできる範囲は行えている。 新規の入居時より、日々の記録②へ、本人やご家族様の状態や気持ち等、細かく記載することを意識づけ情報共有に努めることが出来た。日々の生活の中で、担当スタッフとの情報共有も密に行いながら、やすらぎスタッフへ問題となっていることを提示し、カンファレンスなどを開き話し合いを行う事が出来た。 特変があった場合は日々の記録②を活用している。 朝のミーティングに送迎によって参加できない場合は個人情報表を活用している 新規受け入れの事前情報収集においては、施設見学時や関係医療機関、ケアマネジャーからの情報提供など本人や家族の思いを中心にできており、スムーズに受け入れられる体制である。 ラインワークスの活用により、タイムリーに情報共有がしやすい状況となった。
②	受け持ち利用者に対しては、全体把握を行っている。必要とされていること、家族とのやり取り等を

おこない、希望に添えるよう計画をおこなっている。

- ③ 訪室回数増やし声掛け増やし不安無いよう対応出来ている
- ④ 家族とできる限り情報の共有、不安等への配慮出来ている
出来なかった日には休憩時間に確認するようにした。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①ケアマップが最新に書き換えられていないことがあり、そういった意味では適切な情報発信・共有が不十分になっていることもある。

- ・日常業務に追われ、細かく管理、把握できていないことがある。
- ・業務多忙なこともあり、記録を書けないことも多い。
- ・日々の記録②に残すべきとわかっているが、後回しにし忘れていたこともある。
- ・日々の記録②について2階がほとんど記入されていない
- ・送迎等でミーティングの参加できないことが多い。勤務的に難しい。
- ・ミーティング中のコールや利用者の対応を優先するため
- ・職員員減少に伴い業務多忙、午後のミーティングが出来ていない。
- ・インテーク時に主に家族に情報をとっていきが、家族も面会できておらずニーズの確認に苦慮することあり。
- ・情報収集した内容が、記録としては残っていない。申し送りだけの伝達に留まっていることが多い。
- ・薬剤準備や他の情報収集で時間がない場合がある

② 必要としている支援、できる限りはしているが、待ってもらう時間等が多い

担当スタッフが出勤できない日などに問題が上がる場合、話し合いが直ぐに出来ず、ご利用者様への負担となってしまった

利用者の身体状況により個別で対応しているが職員減少に伴い対応出来なくなっている。

④関係づくりの配慮や声掛けを心掛けてはいるが、充分とは言えないと思う

理由

①ケアの変わった事を時間を取り、ケアマップに反映させていない。ケアマップを修正する時間を設けていない。ケアマップに頼らず、公的文書で残る日々の記録①②、訪問看護記録での情報収集が重要である。

業務終わりに振り返りをするが、業務の一部となっておらず身についていないから

その日の受け持ち利用者で気持ちがいっぱいになる

勤務的にミーティング参加難しい。

ミーティング中のコールや利用者の対応を優先するため

細かな情報が、申し送りで曖昧となることもある為、引き続き日々の記録②の活用を充実化した方がよいと思われる。

②日常業務におわれる。疲労。努力不足

他の方への支援、人員不足のため出来ないこともある

④時間に余裕がないと感じる。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

午後のミーティング時間が摂れない為、朝礼時に新規情報を共有しラインワークスの活用を徹底する。
その時間に共有ができないスタッフは、入居情報ファイルや、3階の入居予定リスト等で情報確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 4年 1月 11日 (14:35~14:55)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 泉・松島・川中・山出・目代・新見・宮下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	5人	1人	16人

前回の改善計画

情報共有のツールとして、ケアマップ・日々の記録・ホワイトボード・その他いろいろあり、どこを確認すれば良いのかわからなくなってしまう。ケアマップだけの情報では、断片的な情報になってしまうのが、日々の記録②に記入することで経緯など記入でき、根拠も明確にできる。意識を持ち、活用していく。

【改善策】

- 申し送りでの情報が「申し送り」でストップしてしまい、皆で共有できていないこともある。日々の記録②を活用することが大切であり、前回ミーティング同様、日々の記録②を書く・見る習慣をつけていく。業務上、日々の記録②の書く・見る時間が難しいこともあるが意識を持ち実施していく。
- 個別計画書の更新時に、各担当で話し合い再作成している。作成後に、ミーティングの機会を持ち、個別計画書の内容や、希望について確認する場を持つ→ミーティングの機会を定期的な持つ
※ 「どこまでの内容を記入したらよいのか？」
→状態変化があった場合、スタッフ間で共有(報告)した情報を記載する。
小さなことでも記入していく癖をつけていく

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		9	7		16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		9	6	1	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	9	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		10	6		16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

看多機に移行して1年半が過ぎ、利用者様の様々な方が来られる様になりました。まだ伸びしろはあるとは思いますが、利用者様の必要なケア・やるべきことがだんだん見えてきたように思います。

本人が慣れていない時期には訪室回数増やし声掛け増やし不安無いう対応出来ている
家族とできる限り情報の共有、不安等への配慮出来ている
日々の記録②の記載により、利用者の思いの代弁、行動の経過等の情報共有に努めた。緊急性のある事柄についてはすぐに記載している
変化がある利用者に対しては担当者会議を行った
本人・家族の思いに添えられるよう関わるよう努力はしていた。
看多機のシステムを活用しながら、利用者の状態把握やケアの必要性について、スタッフとの情報共有を密に行えるようミーティングの機会等で発信はできた。
年間の目標を自分の目に付くところに置き忘れないようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>機能訓練などここに必要な事を取り組んでいる人と取り組めていない方がいると思います。昼からの時間を有効活用出来ていない。</p> <p>その方の一日のスケジュールリングを行う等をしていない。本人の目標を理解できていない必要としている支援、できる限りはしているが、待ってもらえる時間等が多い。業務に追われることが多く、かかわりを持つ時間が少なくなってきた。本人の目標を目指すことができにくい。</p> <p>日々の業務、記録類を終わらせる事が優先し、利用者様への関りが薄い時が多々ある。そういう時は職員同士声掛け合い、目先の事だけでなく全体をみていく習慣をつける</p> <p>日々の記録②での情報共有があまりできていない。記載しておくといふ事柄はるがせずに過ごすことがある。情報量が多く、その日自分が主に入る階の記録にしか目を通せないことがある。記載する時間が業務多忙により抜けてしまいますことがある。送迎、入浴などフロアにいる以外の多方面の仕事が多く、フロアにいても座って書く時間が持てない。</p> <p>今ある仕事の必要性を選別し時間帯、人員配置を考えなければならない。今まで変更してきた業務がケアにどのように結びついているのか、評価・意識統一を図らなければならないと思う。</p> <p>いる情報といらない情報とが交じり合い、情報の分析や経過など記載していく事が上手く出来ていなかった。</p> <p>利用者の身体援助や症状コントロールについて、日々の業務としてではなく全体的に過ごしやすい環境やケアについて個別に取り組めていなかった。自分自身の動きだけではなく、スタッフと「今日は〇〇に取り組もう！」「こういった動きで行こう」など細かな打ち合わせや声掛けが不足していたと考える。</p> <p>個別計画更新時の、ミーティングが特定のスタッフしかできていない。今の人員上開催が難しい。各受持ちで話した内容を、記録として残し、皆で回覧してはどうか</p> <p>目標に上げた事を日々の利用者様への対応に活かせていない。時間に捉われて「事故なく安全に。」の思いが優先し利用者様の表情や会話、お話を聞こうとする意識が低く、業務優先している時がある。</p> <p>危険行動の高い順や要望の強い利用者様がどうしても優先的になってしまう</p> <p>申し送りの時間を短縮すると早口になったりして伝わらず必要情報が途切れる</p> <p>ミーティングは殆どおこなえていない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>紙面上では様々な意見が出たが、自己実現の尊重「目標」に焦点を当てた話を行い、以下の改善計画とした。</p> <p>自分で話ができる人にはケアが行き届いているが、自分で発信できない人のケアが不足している事を踏まえ、現在人員配置で業務やケアが十分出来ていない時もあるが、利用者様在りきとしケアに時間を当てられる様に努める</p> <p>対策：①スケジュール設定は現在難しい為、おやつ時や注入時等の時間に個別ケアを実施</p> <p>②個別ケアを充実させていくためにも、個別計画書作成時のミーティングの開催を必ず行う。</p> <p>ミーティングを行う前には、 担当看護師・ヘルパーでの計画のすり合わせ→その後、ミーティングを行う</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和 3年 11月 24日 (14:00 ~14:35)
-----	------------------------------

3. 日常生活の支援

メンバー	三通田、多田、森、大下
------	-------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	11人	5人	人	16人

前回の改善計画	
①	「以前の暮らし」を知っていくために、利用者の生活歴のアセスメントを実施し、記録と残していく。記録は、フェイスシートに記入していく。
②	利用者の対応方法がスタッフ間で統一できていないことあり。まずは、排泄面で、オムツ類の使用を統一するため、受持ちにて話し合いを行い、カンファレンスで協議していく。
③④	情報共有をするために、日々の記録②を活用。日々の記録②を出勤時に確認する。始業時に確認できない場合は、業務の間に確認する。私語をする時間を確認する時間に変えていく。
⑤	利用者の状態に合わせて、引き続き泊り、通い、訪問サービスを調整し対応していく。対応方法を決め兼ねる際は、スタッフ間で相談していく。(発熱時の対応マニュアルあり)。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし」が10個以上把握できていますか?		1	9	6	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	14	1		16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	8		16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	13	2		16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11	4	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>利用者様の関りを変えていかなければならないことや統一した関りが必要な際は、カンファレンスでの情報発信やラインワークスの活用で、スタッフとの情報共有する事が出来ています。</p> <p>利用者からの要望等あれば情報として共有できている</p> <p>日勤回数が多いため、把握し次へ申し送りができるように配慮している</p> <p>入浴、排せつ、食事等では、本人のADLや体調に合わせて対応できている。</p> <p>日々の記録②については、出勤時確認できている。共有が必要な事項については、記載するよう努めている。</p> <p>出勤時、必ず日々の記録に目を通して業務に臨むようになった。日々の日常生活動作の状態を観察しながら、ご利用者様の状態に合わせたケアを提供することが出来た。</p> <p>利用者様への見る目は職員全体的にみても高い職場だと思う。</p> <p>看多機のシステムは、柔軟に利用者状態変化に対応できる利点がある。相談しやすく、迷った場合でも連絡しやすい体制である。日々の記録の活用により、細かな情報は得られている。</p> <p>朝礼時に本人・家族の思いを共有する場面は多い。そこが記録に残っていないのが残念。</p> <p>本人の体調変化や発言について気になった事は発信している</p> <p>フェイスシートを確認することで本人の生活歴を確認し、思っていることを気兼ねなく話してもらうような関係を持つように意識していく</p> <p>利用者の体調や状態にあわせて、立位困難で自立が難しく、ベッドでの端座位も難しくなってきた方にはリハパンからオムツ装着に変更していった。ご本人様も拒否見られず。</p>

行動や表情を読み取り、訴えを待つ時間を設けた
情報収集を行い、何とか出来ていると思える。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

排泄については、その人にあった定期的なトイレ誘導などが出来ていないなど感じる場合があります。パットありきになっていることがあります。療養生活を支援し、機能を維持していく観点からするとケアとしては大切なことと思います。

以前の暮らし方等は、情報共有できていない
把握不足の内容もある
本人の気持ちや要望に即時に対応できていない。
以前の暮らしについてまで踏み込んでアセスメント実施できていない。
ケアカンファレンスの実施。
通いサービスのご利用者様の日々の状態を確認が上手く出来ていなかった。
利用者に対しての思いが強い分少し偏った考え方もあり、全体をみて考える必要がある。チームで考えるを前提に、報連相をもっと取り入れできる事はして頂く、家族に協力して頂く、利用者に対して干渉しすぎない等自立支援も必要である。
本人の介護状態について、援助が必要な点や見守り又は自立なのか？過介護になってしまっている点がある。
以前の暮らしを知る前に亡くなる
ミーティングが出来ない状況なためしっかりと情報の共有を持つことが困難
本人としっかりと話ができる時間を持ってない状況にある。
日々の記録②に記録してもなかなか職員全員に周知がむずかしい。
声にならない声を言語化するのは難しい
即時的に支援がどこまですることが正確なのか現在も分からない

なぜ？ どうして？ できていないのか？ (その理由)

(200字以内)

その方の排泄パターンを把握していなかったり、排泄表を見る習慣がなくパットありきになっていることがあると思います。

本人とゆっくり会話する時間が取れず、情報収集等ができない
意識不足
時間、人員に余裕がない。
以前よりは出来ているようであるが、受持ちのカンファレンス実施が、時間の都合等によりできていない。
その日の勤務場所により、情報収集が上手く出来なかった。
意識の違い。職勤務形態の違い。
報連相不足。
先入観での関りがあるのだと思う。
送迎、入浴など日々の優先順位が先だって本人にかかわれる時間が持てない。
日々の記録②やラインワークスをみても理解していなかったり思い込みで対応してしまうことがあるように思う。
認知や高齢、機能障害の利用者様が多く生活面を把握するのは難しい。
何を、どこまで支援することが正確なのか理解できていないから
情報収取が出来ていないから
本人の声にならない声、瞬時の判断のみでアセスメントもしていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

話し合いの中で一番意見として多かったのが(日々の記録)の活用ができていないという事だった。情報収集のために記録の記入は必要であるとの声があった。
また、カンファレンスにつなげるために記録をしっかりと取り、情報収集をしたうえでカンファレンスがスムーズにできるのではないかと。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月27日(14:45～15:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 長田 泉 松島 川添 采 目代 塚原 山田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	7人	8人	16人

前回の改善計画	
<p>【改善策】</p> <p>① ②③ 利用者の自宅での生活状況をアセスメントし、地域の関りや生活スタイルを知り、フェイスシートに記入する。必要に応じて、日々の記録②(経過記録)にも記入する。本人の生活スタイルに合わせてサービス提供していく。</p> <p>④ 民生委員や地域との関りが少ない状況あり、まずは民生委員の方を知る・把握することから行う。社協から、毎年民生委員の紹介の広報誌が来るので、わかるように回覧・掲示する。運営推進会議は、地域住民(民生委員・町内会長・包括スタッフ等)と関りを持てる場なので、ホーム長やケアマネジャーだけでなく、他のスタッフも参加するようにしていく。交流の場を増やしていく。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	9	3	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	0	4	7	5	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	3	6	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	5	11	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> フェイスシートで必要な情報は得るように心掛けている。 受け持ち利用者に関しては把握できるように努力している。 通い利用者については送迎時にできるだけ家族と話し家での様子を聞いて把握するよう努めている。 ご本人の希望することに対して、ご家族様のご意見を伺いながらケアを継続することが出来た。 日々の記録への記載により情報共有がしやすいように努めることが出来た。 ケアプラン作成時は本人の基にある生活を重視し今までの生活を継続できる事を念頭に支援している。 本人や家族とのコミュニケーションは取れていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 地域との密着と考えると、自宅に帰られている生活状況を把握できている人と出来てない人がいると思う。 運営推進会議等は参加出来ておらず広報誌への関心が不足していた。 地域資源の把握は出来ていない。 事業所内での情報は共有するが、その他、自宅等の情報収集はできていない 全ての利用者に対してはできていない。 コロナ禍のこともあり民生委員や地域との関わりが少ない状況は改善できておらず民生委員の方は知らないまま。 ご家族の状況などを把握できていなかった。

- ・利用者の情報を読んで把握する時間がない、とすればそれは職員の意識の問題だと思うので利用者のことを知ろうとする気持ちを持つ努力をしてゆく。その努力が知る習慣になると思う。
- ・これまでの生活スタイルは紙面上でしか分からない。

<理由>

- ・コロナ禍の為、推進会議等は参加する人数が限られている。
- ・日々の業務に精一杯で民生委員や地域資源の把握に努めようと努力を怠っていた。
- ・事業所内以外の情報を収集する機会がない
- ・活動内容を把握しようと思える時間がなかった（自分に余裕がない）
- ・現利用者様が地域のかたと関係を持てているとは思えない
- ・コロナ禍の状況により地域との関りは持てない状況にある
- ・コロナ感染防止のため、紙面開催が多い為
- ・ご家族様と中々お話ができる機会が少なく情報の共有や伝達が上手く出来ていなかった。
- ・連絡ノートに状況の説明や要望を記載しても実際に伝わったか不安
- ・担当者システムをもっと活用すべきであると思う
- ・フェイスシートしか読めていない

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ① 前回の改善策を継続して行っていく。また、日々の会話で知り得た情報も記録に残し共有していく。日にちが経過した場合でも『追記』と記入した上で積極的に記録していく。
- ②③ 通いノートでの連絡事項が家族に伝わっているか不安な点については大事な連絡事項は送迎スタッフが口頭でも伝えていく。送迎時の家族とのやりとりや個々で行っているケアを記録に残し共有していく。
- ④ コロナ禍の為、自治会活動も自粛傾向であった。今年度できなかったことは来年度も引き続き行っていく。福祉協議会にボランティアの要請をしてみる等、機会を作っていくことで地域とも交流を図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月20日 (14:00 ~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 泉、宮下、采、大下、多田、川中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	7人	5人	15人

前回の改善計画	
【改善策】	
① 地域の社会資源を知ることができていない。コロナ過で、住人と関わる場も少なかった。スタッフの知らない場面で、利用者やその家族を心配し、支援している住人もいるかもしれない。情報収集を行っていく。	
②④利用者の状態合わせて、柔軟にサービス提供ができています。コロナ過で、対応方法を悩む際は主任やスタッフ間でしっかり相談しながら検討していく。	
③ ミーティングを習慣化させていく→個別計画書更新時に、新たなプラン作成したら事業所内でカンファレンスを実施し、情報を共有する場をつくる。	
<ul style="list-style-type: none"> ・Excelにて、カレンダーの表を作成。今月実施しなければいけない利用者を明記する。 ・受持ちスタッフが出勤時に、カンファレンスを開催する。日程をカレンダーに記載する。 ・午後の時間帯で、開催する。 ・20日までに開催する→期限内で家族へサインをもらうため。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			6	8	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	3	3	3	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	9	3	2	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	10	2	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>看多機となり1年でその人に合ったサービス提供がなされるようになったと思いますし、必要の際はサービスの変更等も行い、関われるようになってきたと思います。</p> <p>カンファレンスは出来ており情報の共有、更新できている</p> <p>「通い」「訪問」「泊り」は、家族、本人の要望に沿って実施出来ている</p> <p>家族様のニーズに沿って利用できていると思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の負担を考え、こちらから利用提供(泊りなど)の声掛けができています

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>地域資源を把握し有効活用などは出来ていません。</p> <p>事業所外の情報収集する機会がない。情報収集する場がない</p> <p>日々の状態の確認が上手く評価できなかった。担当が出勤でない時に、状態の変化などの情報共有が上手く出来ていなかった</p> <p>利用者の一人一人の介助量多く、職員減少も伴い負担とを感じる事がある。</p> <p>カンファレンスの定期開催が行えていなかった。ミーティングでの情報共有ができない。</p> <p>カンファレンスがミーティングの時間に合わせてしまう事が多かった。事前にスタッフからの意見も取り入れ、定期的な開催ができるようにする。</p> <p>本人の希望ではなく、家族の希望を優先されているように思う。家族との時間を持たせてあげることに重点を置くことが出来ていない。</p> <p>毎日利用される利用者様にそれぞれその日に合った柔軟な対応がしたいがやりやすい分かりやすい方には</p>

出来ているが訴えの要望もない静かにされている利用者様は「寄り添った対応や支援」が出来ていないように思う。訴えの強い方を優先してしまう。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

③HP 入浴・送迎に手を取られ情報共通が出来ていない→朝の申し送りの参加、各階一人は参加できるのが望ましい。個人情報の活用→HPでどのようにしたら上手く伝達できるか話し合う。HP申し送り参加する為にNSの送迎も必要→訪問時間が送迎時間とかぶり送迎困難となっているのが現状。訪問時間の検討、CMにも協力依頼、夕方の注入者の記録を夜間に回すか検討。→日勤から夜勤に勤務交代する際の体交時間の間隔が長く利用者の拘縮も進んでいる為、合わせて体交時間の話し合いをしたいと考えている。NSリーダーは翌日の訪問の人員配置を決めるが送迎のことも考えながら人員配置決定できることが望ましいと考える。

日々の記録②が活用できてないのでどのようにしたら活用できるのか毎回上がっているのが具体的な案が必要。

今回の近隣からの苦情で改めて知った資源の活用について勉強会を行い今後に活かしていく。地域包括にも資料があるので参考にしていく。

事一⑤

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 月 日 (14:30~14:50)

6. 連携・協働

メンバー 塚原・松島・目代

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	9人	16人

前回の改善計画

- ・サービス開始時など、多職種と連携し退院前カンファレンスや担当者会議で情報共有を継続して行う
- ・自治体、地域包括支援センター主催の会議に積極的に参加し、情報共有していく
- ・地域の行事やイベントに参加していき、地域交流を持てるようにする。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所)との会議を行っていますか?	1	4	1	10	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?				16	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?				16	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?				16	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

多職種連携は、サービス開始時等は前もって管理者・ケアマネがカンファレンスなどは参加して下さって事前の情報発信で、業務を遂行できてます。

サービスが開始時には、担当のスタッフと情報共有に努めることが出来た。

事前情報や退院前カンファレンスの情報から、スムーズにサービス開始、展開ができていると思う。

高齢者やターミナル期での体調変化から、身体機能低下による転倒リスクが高い状態となるが、ミーティングの時間を利用してヒヤリハット、インシデント・アクシデントレポートを習慣的に確認し、発生や再発予防が図れていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

②③④に関しては出来ていません。

④に関してはコロナ禍である為、そういう機会を設けていません。

地域交流は出来ていない

自治会等、行事参加できていない

コロナウイルス緊急事態宣言あり、一切できていない。

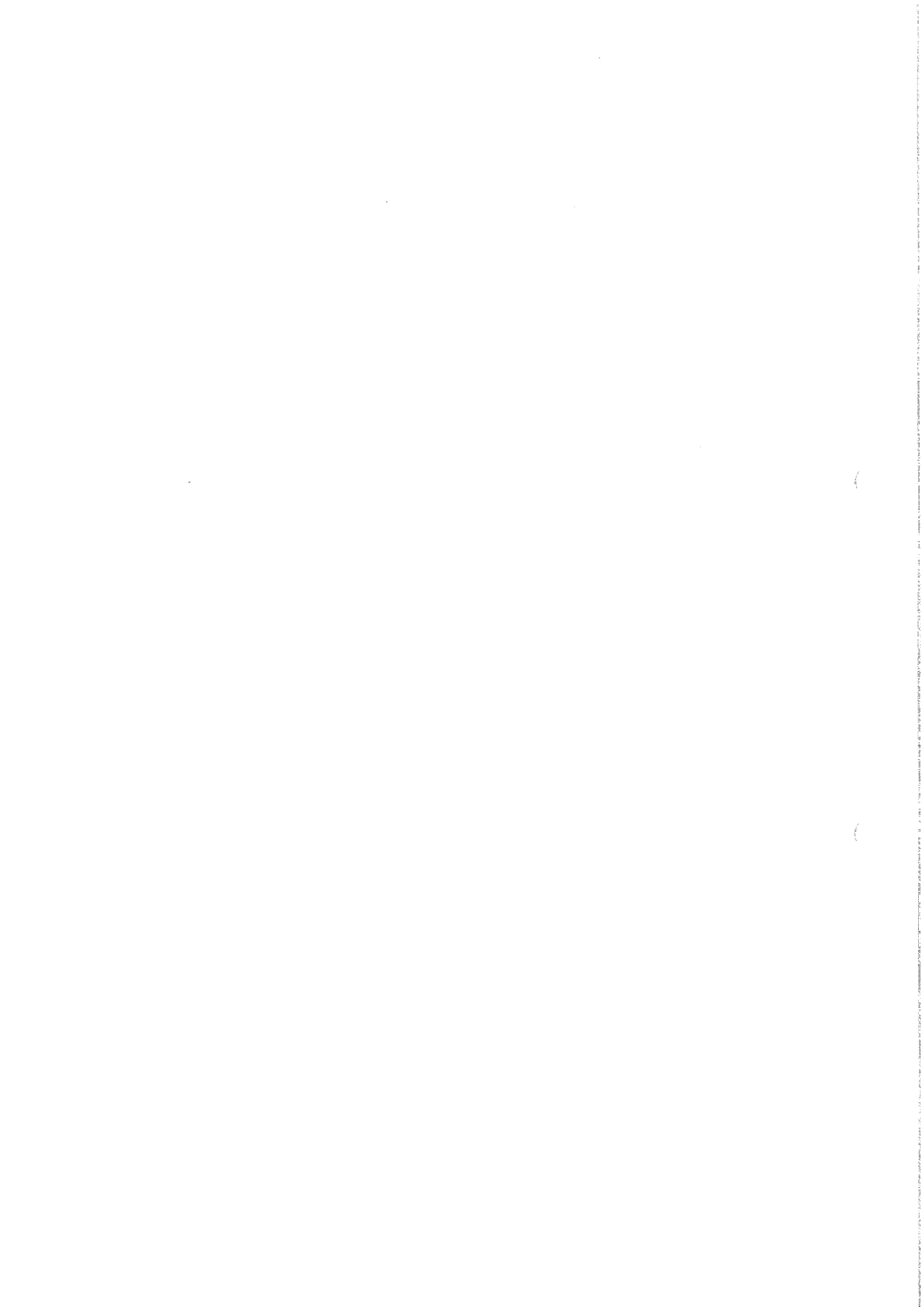
自分から参加しようという意欲が欠けていたから。

自治体、地域包括センター主催の会議には参加できていない

会議がいつあるかの情報を得ていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・多職種と連携しサービス開始前や担当者会議などでの情報共有を継続して行っていく
- ・自治会の会議等に参加できる状況になれば積極的に参加していく
- ・地域にどのようなイベントや活動があるか、地域資源を自ら調べたり探っていく



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月24日(18:00～18:20)

7. 運営

メンバー 長田ホーム長、泉主任、川添副主任
森、山出、松島、前田、山田、塚原、川中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	5人	2人	16人

前回の改善計画	
・個別面談回数を増やしていき、個人の意見の出せる環境づくりを行う ・スタッフの気遣いや、対応が良いときは、すみませんではなく「ありがとう」の言葉を伝えるようにして、良い雰囲気をつくっていく ・地域の行事やイベントに参加していき、地域交流を持てるようにする	
前回の改善計画に対する取組み結果	
意見の言いやすい環境ではあった。 職員同士の声掛け、挨拶、「ありがとう」の言葉やみんな、言っているしよく聞く。 利用者様にもありがとうと言っているのをよく耳にする。 個別面談というかしこまった形だといいにくいので、日々気になる事があれば気軽に相談するようにする。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	8	4	3	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	3	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	2	7	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	11	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	①に関しては、スタッフ間での必要な事を話し合い、発信しなければいけない事は以前に比べ発信出来るようになったと思います。 ・スタッフ間での声掛けは出来ており良い雰囲気作りが出来ている ・自身の思いや意見は伝えるよう努めている ・発言について得手不得手はあるが、発言しやすい雰囲気であると感じる。 ・笑顔で挨拶をするよう心掛け実践している。 ・職員としての意見は言いやすい環境が出来ている
②	②苦情については管理者から発信され、スタッフ間で共有出来ていると思います。 利用者からの意見は都度聞き出来る限り対応している 本人や家族への声掛けが自然に行えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①個人面談の頻度は少ない。</p> <p>②苦情と思われる家族からの言葉も耳にする機会があるが、上司にも言葉にできないことがある。</p> <p>④個人的に機会がない。 積極的な取り組みは出来ていないと思います。 イベントなどもできていない。本来のデイサービスとしては機能できていない状態にある。</p> <p>理由</p> <p>④地域連携推進会議等は管理者・主任任せとなっている為</p> <p>④コロナ過で交流の場がないため</p> <p>④施設内での業務内容で精いっぱいだった</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>①日々気になる事があれば、気軽に上司に相談する</p> <p>②利用者や家族とのやりとりで小さなことでも異変や違和感を、感じたときには報告をする</p> <p>③④感染対応は継続しつつも、With コロナを模索していく</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月23日(18:00～18:40)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 長田、泉、前田、宮下、多田、玉田、川中
松島、山出、塚原、川添

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	3人	2人	16人

前回の改善計画

- ・④インシデント・アクシデント・ヒヤリハットに関して、書面で残し、スタッフ間で共有し再発防止に努めていく
- ・事業所内研修の時間をつくり、介護技術・知識の研鑽を行える場をつくり、スキルアップしていく

前回の改善計画に対する取組み結果

インシデント・アクシデント報告は、スタッフ皆意識付けができており再発予防に努めることができた。コロナ禍であり、積極的な研修参加や開催には至らなかったが朝のミーティングの時間を使い細かな情報共有は行っていた。医療依存度や介護度が高い方へのケアや、業務が多忙になるとスタッフ同士の声掛けや、家族等へ情報発信や声掛けが少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	4	8	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	5	8	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	14	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	11	1	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

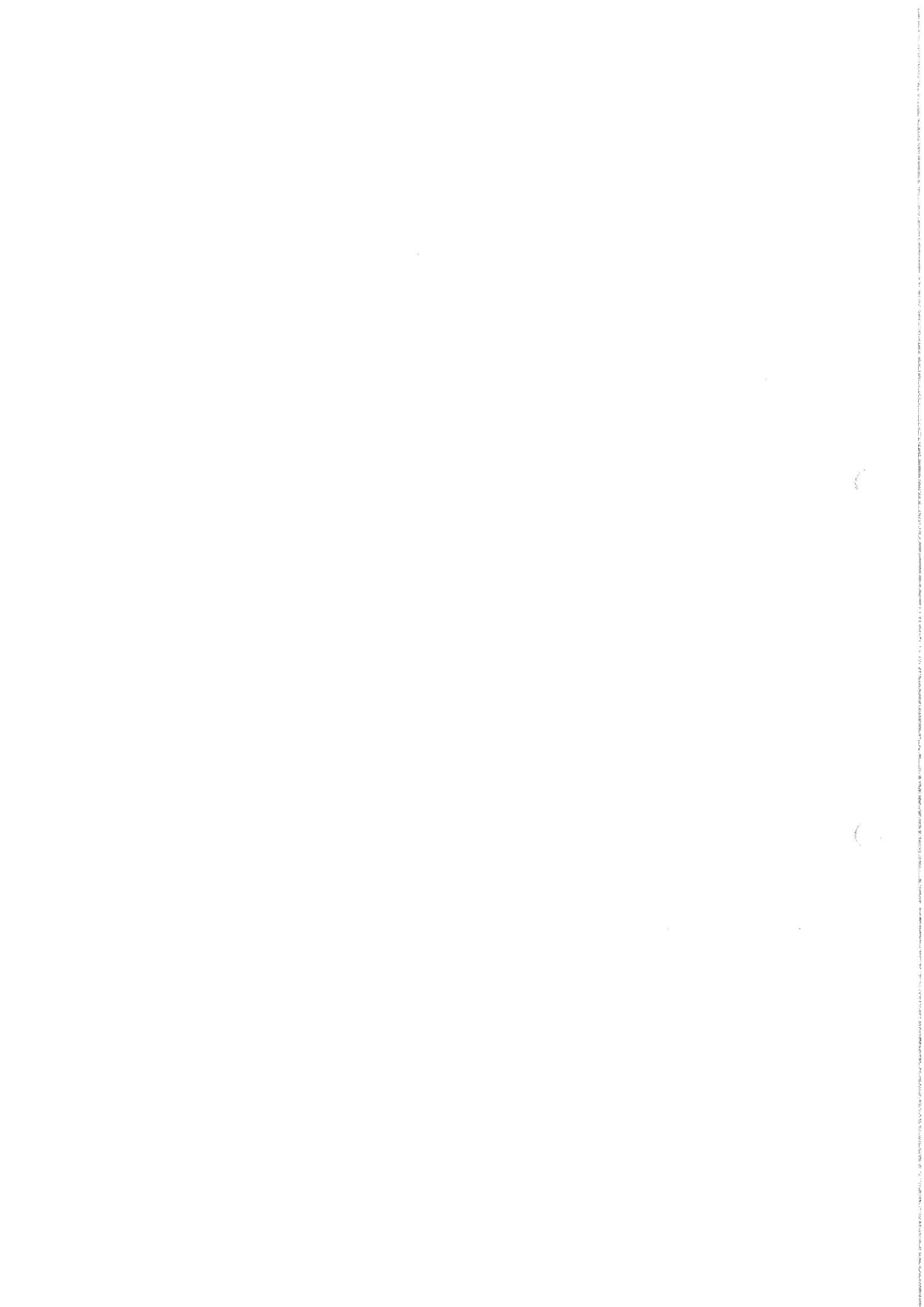
・朝礼の際インシデント、アクシデントの発生については一週間読み上げ全員が周知徹底できるよう情報共有はされている。再発予防に対するの振り返りを行いケアの向上につなげられたと考える。(全体の87人)報告書の提出については日々のふとした些細なことから事故に至るまでタイムリーに記録や気づきに取り組むことができ、報告しやすい環境と未然に予防に努めようとする姿勢は全員で取り組めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナ禍であり全体的に研修参加や開催は環境的に難しく、事業所スタッフの75%～80%は研修参加が難しいと感じた1年であった。しかし、スキルアップを目指して定期的開催や参加ができるためにはどのように取り組むべきかは課題ではあるが、意欲がないということではなく今後検討していく必要はある。KYTについても朝礼 etc 短時間で振り返りながら高めていけるよう取り組むなど自己研鑽していきたいという意見が見られた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

やすらぎの質について統一意識を持つために、業務や日々の気づき等情報共有しあえる関係性と、声掛けしあう気持ちを大切にしていく。研修参加や開催による自己研鑽のみならず、互いに思いやりを持った行動やケアに繋げられる積み重ねにより、一層質の向上が高められる。次年度は、質の向上に対する取り組みとして、情報共有や声掛けの場を増やし安心できる療養環境及び職場環境を目指す。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 12 月 3 日 (15 : 00 ~ 15 : 20)

9. 人権・プライバシー

メンバー 泉 川添 栗栖 佐々木 山出 大下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9人	2人	5人	16人

前回の改善計画
 成年後継制度対象の利用者はいないが制度をについて理解していく
 プライバシー保護、個人情報保護に関しては、引き続き意識しながら取り組み管理をしていく。
 虐待、身体拘束について、定期的に研修を開催していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	5			16
②	虐待は行われていない	13	3			16
③	プライバシーが守られている	9	7			16
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	1	11	16
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	6	2		16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 身体拘束の意味を理解しスタッフ皆、意識しながら対応できている。
 つなぎ服、ミトンの着用はせずに、センサーマットを活用し転倒転落に努めることが出来た。
 センサーマット使用についても評価し不要時は速やかに撤去している。
 自分の行動や、ケアが身体拘束、虐待になっていないか常に意識している。
 日常生活の中での線引きは難しいが意識して業務を遂行している。
 個人情報を持参している時は手元から離さず、他人の目に触れない様に意識できた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 目に見える拘束は行っていないが、言葉での静止はある。
 コロナ禍にて定期的な研修「虐待、身体拘束について」「成年後見制度について」ができなかった。
 NC やセンサーキャッチ、訴えが重なった時や続く時は口調がきつくなってしまうことがあった。
 スタッフ間の言葉のやり取りや会話でプライバシーが守られていないと思われる事がある。
 ケアマップ印刷などに裏紙を再利用しているが、プライバシー、個人情報が守られているか？疑問である
 (個人の写真、ポジショニングの裏紙が使用されていた事もあった)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ①来年度は成年後見人制度、および倫理について研修会を必ず開催する計画を立てる。②個人情報 (ケアマップ) の再利用 (裏紙使用している) をこのままでよいか裏紙として使用しない等検討する。ケアマップを外部の人の目に入るところに置いたままにしない。③インカムの利用の仕方 (話す内容が周りに漏れている状態の時が多々ある) 耳に負担、痛い等あるのでインカムの検討。以上改善計画とする。

